

令和4年7月

滋賀大学大学院経済学研究科（博士前期課程）

『研究テーマ及び著作リスト』

このリストは、本学大学院担当教員の研究テーマ及び5点以内の著作リストを選び作成したものです。

出願者は、出願書類の研究計画書の作成と入学後の研究指導教員を選ぶにあたり、このリストを参考にしてください。

ただし、令和5年度入学者選抜に研究指導学生を募集しない教員については、このリストから除いてあります。

また、リストのなかで「著書・編著・共編著」などと表示されているもの以外は、すべて「論文」です。

目 次

経済学専攻	1～26頁
経営学専攻	27～47頁
グローバル・ファイナンス専攻	48～52頁



より詳細な研究科の情報を知りたい方は、
滋賀大学研究者情報総覧をご覧ください。

<https://researchers.shiga-u.ac.jp/search?m=home&l=ja>

経 済 学 専 攻

府 内 直 樹 准 教 授 P h . D . (経 済 学)

I 研究テーマ

戦略的状況や個人意思決定問題における、適応学習者の長期的行動を理論的に分析しています。経済実験で観察される、限定合理的な学習者の長期的行動を伝統的な人々の行動予測（ナッシュ均衡など）で予測できるか、できなければ、どのような概念が必要か探索しています。

II 著作リスト

- ①Stochastic adaptive learning with committed players in games with strict Nash equilibria
SSRN Electronic Journal, 2021年10月
- ②Adaptive Learning in Finitely Repeated Games
SSRN Electronic Journal, 2021年04月
- ③Convergence results on stochastic adaptive learning
Economic Theory, 2019年11月
- ④Reinforcement Learning with Foregone Payoff Information in Normal Form Games
SSRN Electronic Journal, 2019年
- ⑤An Adaptive Learning Model with Foregone Payoff Information
The B.E. Journal of Theoretical Economics, 2014年04月

III 指導可能なテーマ

行動ゲーム理論、伝統的なゲーム理論に関する理論的研究であれば指導可能です。実験経済学や行動経済学の知見は利用しますが、経済実験やそれで得られたデータの分析は行なっていませんので、その点は指導が難しいかもしれません。メールなどで相談してください。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002980_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

鈴木康夫 教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

景気変動とマクロ経済政策，景気循環とインフレ，経済成長と経済発展，
動学的厚生経済学，資源及び環境開発問題

II 著作リスト

- ①（著書）『不安定性原理とハロッド＝ドーマー型経済変動成長理論』
『滋賀大学経済学部研究叢書』第35号，2001年3月
- ②「ハロッド＝ドーマー型モデルと現代経済成長理論」
『彦根論叢』第332号，2001年10月
- ③「I S．LM体系の動学分析とケインジアンマクロ経済政策」
『滋賀大学経済学部研究年報』第8巻，2002年3月
- ④（著書）『ケインズ革命とマクロ経済学』昭和堂，2003年3月
- ⑤「基本的な最適成長モデルと完全雇用」
『彦根論叢』第344・345号，2003年11月

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002415_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

谷川 義行 准教授

I 研究テーマ

一般均衡理論を主とするミクロ経済学, 数理経済学

II 著作リスト

- ① 「無限次元財空間における経済の一般均衡存在定理について」
『一橋論叢』1996年6月号
- ② “On the Existence of Walrasian Equilibrium in Large Square Production Economy—
A Model of Commodity Differentiation—”
RUEE Working Paper#98-73 一橋大学経済学部, 1998年1月
- ③ 「非完備条件付き財市場における一般均衡存在命題—無限期間／無限分岐に纏わる諸問題を中心として—」
『彦根論叢』第316号, 1998年12月 / 第318号, 1999年3月(2分冊)
- ④ “Increasing Returns and Externalities—An Equilibrium Existence Theorem—”
Working Paper#56 滋賀大学経済学部, 1999年1月
- ⑤ “Analytic Approach for the Walrasian equilibrium Existence Theorem”
Working Paper#301 滋賀大学経済学部, 2020年10月

III 指導可能なテーマ

一般均衡理論を中心とするミクロ経済学・数理経済学。理論の数理的側面の追求が主です。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002417_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は, 入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

大 瀨 巖 准 教 授 博 士 (数 理 学)

I 研究テーマ

カオスコミュニケーションシステムにおける通信誤差確率の統計的評価

II 著作リスト

- ①Exact Calculation of Bit error Rates in Chaos Communication Systems
滋賀大学経済学部 Working Paper Series, No.76, February 2003.
- ②New Approximations of Bit Error Rate in Chaos Shift-keying Systems
滋賀大学経済学部 Working Paper Series, No.77, February 2003.
- ③Exact Calculation of Bit Error Rates in Communication Systems With Chaotic Modulation
IEEE Transactions on Circuits and Systems I : Fundamental Theory and Applications, Vol.50, No.11, November 2003.

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002421_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス : nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

田中英明 教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

決済・信用機構を中心とした市場機構の歴史的な展開と理論的な把握について、マルクス経済学を基盤とした研究を行っています。

II 著作リスト

- ①（著書）信用機構の政治経済学－商人的機構の歴史と論理
日本経済評論社，2017年2月
- ②現代の貨幣と「現代貨幣理論」－中央銀行貨幣の債務性をめぐって
経済志林89巻 2号，2022年3月
- ③ロンドンを中心とした決済・信用機構の「近代性」
「宇野理論を現代にどう活かすか」Newsletter，2巻 17号，2016年03月
- ④セントラル・バンキング論の再考のために－中世後期以降の決済・信用機構と、
アムステルダム振替銀行
彦根論叢394巻，2012年12月
- ⑤商品の「資本性」－空所の純粋性から
彦根論叢382号，2010年1月

III 指導可能なテーマ

マルクス経済学に基づく制度的・進化的なアプローチによる資本主義経済の研究であれば、基礎理論的な研究から、歴史的な発展・変容を踏まえた現代資本主義分析まで指導可能です。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002416_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

御崎加代子 教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

専門分野は経済学史です。特に、一般均衡理論の創設者レオン・ワルラス(1834-1870)の経済思想を研究しています。現在は、ワルラスの労働市場観、企業者概念の起源と形成過程、効率と公正にかかわる思想に取り組んでおり、現代経済学の思想的・歴史的背景の解明を目指しています。

II 著作リスト

- ① “Léon Walras and The Wealth of Nations: What Did He Really Learn from Adam Smith?”
The European Journal of the History of Economic Thought 28-3, pp.404- 418,
June, 2021
- ② “The Concept of Labor Market in Léon Walras’ Pure, Social and Applied Economics”
Economia, 8-4, pp. 419-438., December, 2018
- ③ “History, Philosophy, and Development of Walrasian Economics”
The Encyclopedia of Life Support System (EOLSS), the UNESCO, 6. 28. 38, 2012
- ④ (著書) 『フランス経済学史ーケネーからワルラスへ』
昭和堂, 2006
- ⑤ (著書) 『ワルラスの経済思想ー一般均衡理論の社会ヴィジョン』
名古屋大学出版会, 1998

III 指導可能なテーマ

経済学の歴史的・思想的側面にかかわるものであればどのようなテーマでも指導いたします。経営学に関連するところでは、アントレプレナーシップ概念の歴史的・思想史的考察は私の専門分野です。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002418_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

松田有加 教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

経済のグローバル化と税制について研究しています。また、スウェーデンの税制についても研究しています。

現在は、OECDのBEPSプロジェクト行動1に関心があり、税制における国際協調の動きに注目しています。

II 著作リスト

- ①税源浸食と利益移転プロジェクト行動1第2の柱における国際課税原則と課税権の変容
『彦根論叢』第429号，2021年
- ②スウェーデンにおける勤労所得税額控除のワーキングプア対策としての可能性
『彦根論叢』第415号，2018年
- ③スウェーデンにおける租税支出
『彦根論叢』第410号，2016年
- ④国際租税制度と租税競争
植田和弘・新岡智編『国際財政論』有斐閣ブックス，2010年

III 指導可能なテーマ

財政学に属するテーマであれば指導可能です。必要に応じて、希望する研究テーマが指導可能かメール等で確認してください。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002424_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

和田佳之 准教授

I 研究テーマ

ミクロ経済学を主要な分析手法として、非市場的な人間行動（例えば法律問題や環境問題、政治的活動等）を、それらの行動主体の経済的動機に着目しながら、いかに社会的に望ましい状態に誘導するかを考察する。

II 著作リスト

- ① “Are Deposit-Refund Systems Superior to Other Externality Collective Policies? : A Simple Partial Equilibrium Approach”
Science for Environment & Sustainable Society
(滋賀大学環境総合研究センター研究年報)、第7巻第1号、2018年8月
- ② “Re-Examination of the Efficiency of the Joint and Several Liability System”
Science for Environment & Sustainable Society
(滋賀大学環境総合研究センター研究年報)、第15巻第1号、2010年8月
- ③ “Connecticut and Its Environmental Policies”
The Annals of Human and Social Sciences (滋賀大学経済学部研究年報)、第10巻、
2003年12月
- ④ “An Interpretation of Voting as a Collective Action”
The Hikone Ronso (彦根論叢) 第340・341号、2003年3月

III 指導可能なテーマ

ミクロ経済学を基盤とする理論分析(いわゆる応用ミクロ経済分析)に属する研究であれば、基本的に指導が可能です。ただし、英文の学術雑誌を読解できる英語力および数学の素養を要求します。その上で、自ら実証分析を実行する意欲をもつことが理想です。事前コンタクトを希望する場合には、入試課を経由して下さい。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002432_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

中野 桂 教授 Ph. D. (経済学)

I 研究テーマ

応用ミクロ経済学を中心とした研究。テーマは、産業組織論、産業政策論、環境、医療、まちづくりなど多岐にわたる。

II 著作リスト

- ① コミュニティへの関与実態と関与意向が居住地選好に与える影響
環境情報科学論文集, 33 巻 (頁 347 ~ 352) , 近藤 紀章、中野 桂、田中 勝也,
2019 年 11 月
- ② ソーシャル・キャピタルが地方創生に与える影響
- 市区町村GIS データによる空間計量経済分析-
経済分析 197 号 (頁 53 ~ 69) , 田中勝也, 中野桂, 道上浩也, 2018 年 03 月
- ③ 持続可能性指標における効率性と衡平性
- エコロジカル・フットプリントを中心に-
環境科学会誌, 22 巻 4 号, 2009 年 07 月
- ④ 彦根市における出産環境の現状と課題
- 地域共同需要の充足のための制度設計にむけて-
彦根論叢, 370 巻 (頁 23 ~ 45) 、金森京子、只友景士、中野桂、吉川英治,
2008 年 01 月
- ⑤ (共編著) 競争の戦略と政策 (第 5 章、第 6 章をともに川濱昇氏と共著)
有斐閣、柳川隆・川濱昇編, 2006 年

III 指導可能なテーマ

研究テーマに掲げた事項にかかる理論的、実証的分析などについて指導可能である。詳細については応相談。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002429_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

石井 利江子 准教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

公共入札の実証研究を行っています。入札談合を検知する手法の開発や、入札制度が入札行動に与える影響、落札価格と工事品質の関係などについて、データ分析を行っています。

II 著作リスト

- ①“Transnational machine learning with screens for flagging bid-rigging cartels.”
Journal of the Royal Statistical Society: Series A (2022).
- ②Hatsumi, Kentaro, and Rieko Ishii. “The effect of price on the quality of public construction in Japan.”
Japan and the World Economy 62 (2022).
- ③Ishii, Rieko. “Can E-Procurement Reduce Bid Rigging in Public Auctions?.”
Journal of Competition Law & Economics (2021).
- ④“Bid roundness under collusion in Japanese procurement auctions.”
Review of Industrial Organization 44.3 (2014).
- ⑤“Favor exchange in collusion: Empirical study of repeated procurement auctions in Japan.”
International Journal of Industrial Organization 27.2 (2009).

III 指導可能なテーマ

計量経済学的方法で研究する人は、テーマに関わらず指導できます。ただし、マイクロデータを使用する場合があります。マクロ経済学の実証分析は指導できません。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002427_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

山田和代 教授

I 研究テーマ

戦後日本の労働史について研究をしています。とくに賃金制度史に関心を持ち研究を始め、労働観・賃金観や労働組合の女性組織の運動について一次資料を用いて分析をしてきました。雇用平等政策と労働市場の構造についても研究しています。最近では、若年女性の生活の質について共同研究を行っています。

II 著作リスト

- ① (共著論文) "Rethinking Family Inclusion in Japan: What Raises the Quality of Life of Young, Unmarried Women Living with Parents?"
『女性学研究』(大阪府立大学) 29号, 2022年
- ② 「労働社会の変化とリスク」
『リスク社会の家族変動』放送大学教育振興会, 2020年
- ③ 「労働運動にみる男女雇用平等実現への課題：均等法制定前後の総評婦人局の諸相から」
『大原社会問題研究所雑誌』(法政大学大原社会問題研究所)、635・636号, 2011年

III 指導可能なテーマ

日本の労働史に関する歴史的制度分析からのアプローチであれば概ね指導可能です。なお、計量的データ分析は指導対象外ですので注意して下さい。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002430_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

佐野洋史 教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

経済学の手法を用いて、日本の医療・福祉供給体制に関する問題の原因究明と解決策の導出に取り組んでいます。近年では、産科・小児科等の医師が最も重視する勤務条件について、医師の勤務先の選択行動データを分析して研究しています。

II 著作リスト

- ① Association between age factors and strategies for promoting participation in gastric and colorectal cancer screenings.
BMC Cancer, Vol. 18, No. 1, pp. 1-9. 2018年3月
- ② Does lack of resources impair access to breast and cervical cancer screening in Japan?
Plos One, Vol. 12, No. 7, pp. 1-16. 2017年7月
- ③ へき地の勤務条件に対する大都市の内科系勤務医の選好
『日本労働研究雑誌』No. 680, pp. 86-101. 2017年2月
- ④ 介護保険外サービス需要の決定要因
『季刊家計経済研究』No. 99, pp. 52-61. 2013年7月
- ⑤ 医師の就業場所の選択要因に関する研究
『季刊社会保障研究』Vol. 45, No. 2, pp. 170-182. 2009年9月

III 指導可能なテーマ

日本や外国の社会保障（医療、福祉、年金、育児、労働、貧困等）の問題について、経済学の手法で分析する研究であれば、どのようなテーマであっても指導可能です。希望される研究テーマ・計画が指導可能であるかを、メールで問い合わせさせていただいても構いません。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002428_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

小倉明浩 理事

I 研究テーマ

先進国と発展途上国間の経済関係の研究
途上国間の地域経済統合の開発戦略としての可能性の研究

II 著作リスト

- ①「地域経済統合と経済安定化・自由化政策－MERCOSURの事例によって」
『彦根論叢』第299号，1996年1月
- ②「世界経済の構造変化のもとでの地域経済統合－ラテンアメリカのケースから」
『彦根論叢』第320号，1999年8月
- ③（共編著）『グローバル経済』世界思想社，1999年8月
- ④「グローバリゼーション下における開発戦略の可能性」
『彦根論叢』第322号，1999年12月
- ⑤「市場，政府，国際関係－開発における制度をめぐって」
『彦根論叢』第329号，2001年2月

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002433_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係
(メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

金 秉 基 教 授 博 士 (経 済 学)

I 研究テーマ

発展途上国の開発政策と成長要因について研究を行っています。発展途上国にとって開発は必要か、どうすれば経済開発が軌道に乗るのか、また国際機構や先進国が行っている国際協力と開発援助について研究しています。

II 著作リスト

- ①Does the Export-led Growth Hypothesis Hold for Myanmar?
Global Business Review, 23巻 1号, 2022年02月
- ②The Relationship Between Energy Consumption and Economic Growth in Myanmar
Asian Development Perspectives, 12巻 2号, 2021年12月
- ③日本の労働力不足と外国人労働力：シリコンバレーの外国人に対する成人教育を事例に
彦根論叢, 425巻, 2020年10月
- ④Does Education Promote Economic Growth in Lao PDR?: Evidence From Cointegration And Granger Causality Approaches,
The Journal of Developing Areas, 52巻 2号, 2018年01月
- ⑤ラオスの農村開発における灌漑設備および道路整備の経済的効果ービエンチャン県の農村調査からー
国際開発研究, 24巻 2号, 2015年11月

III 指導可能なテーマ

発展途上国の開発政策や経済成長、国際貿易、貧困削減、農村開発、教育開発、南北問題、国際開発協力と開発援助、ODA、東アジアや東南アジア諸国の開発政策などに関するテーマであれば指導可能です。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002434_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

松下京平 教授 博士（人間・環境学）

I 研究テーマ

環境と経済に関わるテーマを全般的に研究しています。研究対象は、自然、エネルギー、地域づくり等を射程としています。主に、統計データを用いた定量的な研究を主に行っていますが、現地調査・インタビュー調査等から定性的な研究も場合に応じて行っています。

II 著作リスト

- ①Effects of forests and forest-related activities on the subjective well-being of residents in a Japanese watershed: An econometric analysis through the capability approach
Forest Policy and Economics, 139, 2022
- ②Community capability building for environmental conservation in Lake Biwa (Japan) through an adaptive and abductive approach
Socio-Ecological Practice Research, 3, 2021
- ③Co-design of National-Scale Future Scenarios in Japan to Predict and Assess Natural Capital and Ecosystem Services
Sustainability Science, 14(1), 2019
- ④Shadow Value of Ecosystem Resilience in Complex Natural Land as a Wild Pollinator Habitat
American Journal of Agricultural Economics, 100(3), 2018
- ⑤Linkage between Crop Diversity and Agro-Ecosystem Resilience: Nonmonotonic Agricultural Response under Alternate Regimes
Ecological Economics, 126, 2016

III 指導可能なテーマ

環境と経済に関連する研究であれば、概ねのテーマで指導可能です。日本国内を対象とした研究でも、海外を対象とした研究でも指導可能です。自然科学的な視点から環境にアプローチする手法については指導対象外です。必要に応じて、メールで希望する研究テーマが指導可能かどうかを確認していただければと思います。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002482_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

I 研究テーマ

生態・環境・経済モデルをベースにしながら、都市・農村の相互作用とサステナビリティの研究、環境配慮行動の促進・伝播の研究を行っています。モデル分析、コンピュータ・シミュレーション分析、実験手法、超学際的アプローチとしての現地フィールド調査手法を使って取り組んでいます。

II 著作リスト

- ①(編著) Living in the Megacity: Towards Sustainable Urban Environments
Springer, 2021
- ②(編著) メガシティとサステナビリティ
東京大学出版会, 2016
- ③(編著) 人にやさしい医療の経済学
信山社, 2013
- ④Does Information about Personal Emissions of Carbon Dioxide Improve Individual Environmental Friendliness? A Survey Experiment
Sustainability, 13巻 2284号, 2021
- ⑤Effectiveness of Incorporating the Concept of City Sustainability into Sustainability Education Programs
Sustainability, 11巻 4736号, 2019

III 指導可能なテーマ

サステナビリティ学、環境経済学、都市と農村の相互作用に関わる研究であれば、理論的研究でも実証的研究でも事例研究でも指導可能です。コンピュータ・シミュレーションや実験手法を使用するものでもかまいません。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002297_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係 (メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

I 研究テーマ

生態系保全の経済分析
持続可能な地域社会形成の経済分析

II 著作リスト

- ① ソーシャル・キャピタルが地方創生に与える影響- 市区町村GISデータによる空間計量
経済分析 - 経済分析197:53-69. 2018年
- ② Value spillovers from the Korean DMZ areas and social desirability
Journal of Behavioral and Experimental Economics. 2018年
- ③ An Economic Valuation of Urban Green Spaces in Kuala Lumpur City
Pertanika Journal of Social Sciences and Humanities 26(1). 2018年
- ④ Estimating the provincial environmental Kuznets curve in China: a geographically
weighted regression approach
Stochastic Environmental Research and Risk Assessment 2017:1-17. 2017年
- ⑤ Institutional Mechanisms and the Consequences of International Environmental
Agreements
Global Environmental Politics 17(1):77-98. 2017年

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002299_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

吉田裕司 教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

優先順位としては、国際金融論、国際マクロ経済、国際貿易、ファイナンスの順で、実証研究を中心に行っています。その中でも特に強い関心を持っているテーマは、為替レートと価格の関係を示す「為替レートパススルー」の研究、経常収支(貿易収支や所得収支)のダイナミクスの研究、為替政策や金融政策が経済に与える影響の研究があります。

II 著作リスト

- ① (共著) Exchange rate pass-through on Japanese prices: Import price, producer price, and core CPI
Journal of International Money and Finance, 123(May), 102599, 2022年5月
- ② (共著) Exchange Rate Pass-through under the Unconventional Monetary Policy Regime
RIETI Discussion Paper, 22-E-20、経済産業研究所(RIETI), 2022年3月
- ③ (共著) An Empirical Investigation of the Balance of Embodied Emission in Trade: Industry Structure and Emission Abatement
Economic Modelling, 92(11), 277-294, 2020年
- ④ (共著) Decomposition of Japan's Trade Balance
International Review of Economics & Finance, 56, 507-537, 2018年
- ⑤ (共著) The Global Financial Crisis: An Analysis of the Spillover Effects on African Stock Markets
Emerging Markets Review, 21, 201-233, 2014年

III 指導可能なテーマ

国際金融論、国際貿易、国際マクロ経済、ファイナンスに関わる実証研究。大学院で研究したいテーマに関しての相談は、事前にメールで連絡をください。より良いテーマになるためのアドバイスも致します。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002445_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

谷上 亜紀 教授 博士（行動科学）

I 研究テーマ

認知心理学

主として記憶、メタ記憶、誤記憶など

II 著作リスト

①文章の書体が読みやすさと記憶に及ぼす影響

彦根論叢（422），2019年12月

②cryptomnesiaに関する研究の動向

心理学研究（89），2018年6月

③授業評価アンケートについての一考察

彦根論叢（414），2017年12月

④問題の難易度に関する情報が確信度判断およびFOK判断に及ぼす効果

心理学研究（73），2002年

III 指導可能なテーマ

実験・調査等、心理学的な方法でアプローチできるテーマならある程度指導可能だと思います。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002494_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

大村 啓 喬 准 教 授 博 士 (国 際 公 共 政 策)

I 研究テーマ

紛争研究

II 著作リスト

- ① 「内戦, 経済成長, 天然資源——天然資源は祝福 (blessing) か, 呪い (curse) か？」
『国際政治』165号、16－29頁 2011年8月
- ② “Termination and Recurrence of Civil War: Which Civil War Outcomes Lead to Durable Peace After Civil War”
Japanese Journal of Political Science 12(3): 375-398. 2011年11月
- ③ “Civil War, Natural Resources, and Democracy: When Do Natural Resources Lead to Civil War?” 『彦根論叢』399号、172－185頁 2014年3月
- ④ 武力衝突と日本の世論の反応」(大村華子との共著)
『レヴアイアサン』54号、70－90頁 2014年4月
- ⑤ “Natural Resources and the Dynamics of Civil War Duration and Outcome.”
Asian Journal of Comparative Politics ,3(2),133-148. 2018年6月

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002478_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

宗野隆俊 教授 博士（法学）

I 研究テーマ

日本とアメリカの市民自治、公共のことがらへの市民の関与（シビック・エンゲイジメント）を研究してきました。理論研究とならんで、日米の複数の都市での現地調査を踏まえた実態研究も重ねてきました。

II 著作リスト

- ①（著書）『近隣政府とコミュニティ開発法人 アメリカの住宅政策にみる自治の精神』
ナカニシヤ出版, 2012年12月
- ②（共編著）『地域自治の最前線 新潟県上越市の挑戦』
ナカニシヤ出版, 2013年11月
- ③「シビック・エンゲージメントからコミュニティ政策を考える」
コミュニティ政策学会編『コミュニティ政策17』, 2019年7月
- ④「ポートランド市の近隣アソシエーション」
滋賀大学経済学部研究年報、第24号、滋賀大学経済学部, 2017年11月
- ⑤「市民的関与とはなにか」
彦根論叢、第412号、滋賀大学経済学会, 2017年6月

III 指導可能なテーマ

「市民自治」、「市民参加」、「市民と公共政策」などに関わるテーマであれば、理論研究、歴史研究、実証研究のいずれも指導可能です。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002483_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

能登 真規子 教授

I 研究テーマ

保証契約、身元保証

II 著作リスト

- ①「民法改正と『保証人の保護』」加藤新太郎ほか〈編〉『21世紀民事法学の挑戦〔加藤雅信先生古稀記念〕上巻』信山社711-734頁，2018年3月
- ②「民法改正と身元保証」名古屋大学法政論集270号〔千葉恵美子教授退職記念論文集〕94-114頁，2017年2月
- ③「現代の身元保証（6・完）—2012年度実態調査—」『彦根論叢』404号46-63頁，2015年6月
- ④「身元保証の裁判例（2・完）—過去20年間の裁判例の検討—」『彦根論叢』393号50-65頁，2012年9月
- ⑤「保証人の『過大な責任』—フランス保証法における比例原則—」名古屋大学法政論集227号〔加藤雅信教授退職記念論文集〕371-395頁，2008年12月

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002489_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

青柳周一 教授 博士（文学）

I 研究テーマ

近世日本における旅行史・交通史を中心に研究しています。経済学部附属史料館で収蔵する史料を活用して、近江地域史や近江商人史の研究も行い、最近では近代沖縄から内地へ向かった修学旅行についても研究しています。

II 著作リスト

- ①（著書）『富嶽旅百景—観光地域史の試み』
角川書店，2002年2月
- ②「近世における寺社の名所化と存立構造—地域の交流関係の展開と維持—」
『日本史研究』547号，2008年3月
- ③（共編著）青柳周一・東幸代・岩崎奈緒子・母利美和編『江戸時代近江の商いと暮らし 湖国の歴史資料を読む』
サンライズ出版，2016年3月
- ④「近代沖縄の内地修学旅行記録を読む—1910年『三府十六県巡覧記』について—」
桂島宣弘編『東アジア 遭遇する知と日本—トランスナショナルな思想史の試み』、文理閣，2019年5月
- ⑤「中井源左衛門光基の日記—「諸事日下恵」と「要用記」」
福田千鶴・藤實久美子編『近世日記の世界』、ミネルヴァ書房，2022年3月

III 指導可能なテーマ

近世・近代の日本旅行史・交通史・地域史です。近江商人については、商家当主による日記や書状などを用いた経営活動や文化的営為の研究といったテーマであれば指導可能です。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002310_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

阿部安成 教授

I 研究テーマ

日本の19世紀後半から20世紀初頭にかけて、伝染病、地震、都市祭典、殺人事件などを素材にして、社会史研究、文化研究をおこなう

II 著作リスト

① (共編著) 『記憶のかたち：メモレイションの文化史』 柏書房, 1999年5月

② 「鯀絵のうへのアマテラス」 『思想』 No. 912, 2000年6月

③ 「養生から衛生へ」

『岩波講座近代日本の文化史』 第4巻, 岩波書店, 2002年2月

④ きずなに絆される：震災とひとのつながりへのヒストリカル・スタディーズにむけて
森村敏己ほか編 『集いのかたち』 柏書房, 2004年5月

⑤ 「都市周縁に向う感知の力：20世紀初頭の横浜」

中野隆生編 『都市空間の社会史』 山川出版社, 2004年5月

III 指導可能なテーマ

近代日本史

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002500_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

福 浦 厚 子 教 授 博 士 (人 間 ・ 環 境 学)

I 研究テーマ

呪術や儀礼、宗教運動などに関する文化人類学的研究を行っている。また、ジェンダーの視点からの研究方法を取り入れている。地域としては主にシンガポールであるが、日本に関しても関心をもっている。

II 著作リスト

- ① (著書) 『都市の寺廟——シンガポールにおける神聖空間の人類学』
春風社, 2018年3月
- ② (共編著) The Japanese self-defense forces and cinematic productions: resonance and reverberation in the normalization of organized state violence.
Jennifer Coates & Eyal Ben-Ari eds., Japanese Visual Media: Politicizing the Screen, pp. 161-179, London: Routledge. 2021年8月
- ③ 「シンガポールの寺廟祭祀における主席・道士・童乩」
『文化人類学』第79巻第3号, 2014年12月
- ④ “Charity Activities and Social Infrastructure: A Case Study in Singapore”
Working Paper No.190, Faculty of Economics, Shiga University, 2013年5月

III 指導可能なテーマ

宗教について文化人類学的な手法で研究することやそれに類するテーマでの研究。また日本での宗教や信仰に関連した文化人類学的な研究に関しても、検討したい。

希望する研究テーマが指導可能かどうかに関して、事前に確認をしていただけると助かります。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002508_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係 (メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

◎以下の教員は27頁～47頁、48頁～52頁を参照のこと(掲載順)

山下 悠 准教授 博士 (商学)

楠田 浩二 教授 Ph. D. (経済学)

金谷 太郎 准教授 博士 (経済学)

近藤 豊将 教授 博士 (経済学)

菊池 健太郎 准教授

内藤 雄志 准教授 博士 (経営工学)

渡邊 凡夫 教授

富田 健一 准教授 博士 (工学)

竹村 幸祐 教授 博士 (文学)

横山 幸司 教授 博士 (学術)

喜田 昌樹 教授 博士 (経営学)

経営学専攻

喜田昌樹 教授 博士（経営学）

I 研究テーマ

経営戦略及び経営管理と企業内データ活用の関係
データマイニングとテキストマイニング
ビジネスデータサイエンス

II 著作リスト

- ①（著書）組織革新の認知的研究—認知変化・知識の可視化と組織科学へのテキストマイニングの導入
白桃書房，2007年6月
- ②（著書）新テキストマイニング入門—経営研究での「非構造化データ」の扱い方
白桃書房，2018年7月
- ③（著書）ビジネス・データマイニング入門〔増補改訂版〕
白桃書房，2019年2月
- ④（共編著）経営のためのデータマネジメント入門
中央経済社，2018年9月

III 指導可能なテーマ

経営管理論、経営戦略論、経営組織論

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002973_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

陳 韻 如 教 授 博 士 (經 済 学)

I 研究テーマ

組織間関係や、組織間関係と競争優位との関係をメインに研究しています。ICT産業の競争力に焦点を当て、グローバル市場における日本と東アジア企業との競争優位の逆転現象・原因をめぐって、組織間関係という切り口から既存の競争理論に対して新しい分析方法を提案し探索しています。

II 著作リスト

- ① (共編著) 「テキスト分析によるアメリカ企業の経営システムの地域性について」
『実践経営学会論文』No. 59, 2022年
- ② 「日本のエレクトロニクス企業の 復活の可能性 テキスト分析によるパナソニックの経営改革への俯瞰」
『彦根論叢』 423号, 2020年
- ③ (共編著) "A Study on Ambidextrousness of R&D Organization on ICT Companies"
International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management proceedings, 2020年
- ④ (共編著) 「中国スマートフォン企業の戦略のダイナミクス」
『滋賀大学環境総合研究センター研究年報』Vol. 15, No. 1, 2018年
- ⑤ 「新技術の形成における新旧技術・組織の調整ーパナソニックの「レッツノート」のケーススタディ」
『九州国際大学社会文化研究所紀要』第64号, 2009年

III 指導可能なテーマ

経営学のうち、組織や戦略、国際比較に関するテーマであれば基本的に理論研究も実証研究も指導可能です。指導可能な範囲は経営学全般と言えるかもしれませんが、製品を対象とするマーケティングは専門外で指導が難しいです（日本ではマーケティングやブランド戦略等は経営学とアプローチや分野がやや違いますのでご注意ください）。必要に応じて、メールで希望する研究テーマが指導可能かどうかを確認していただければと思います。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002453_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

竹中厚雄 准教授 博士（経営学）

I 研究テーマ

日本の製造業の競争力について、特に研究開発活動に注目して研究を進めています。具体的には、エレクトロニクスや自動車関連の企業を主な研究対象として取り上げ、研究開発活動の国際化、オープン化などをキーワードとして調査・分析を進めています。

II 著作リスト

- ①「日系多国籍企業における海外製造子会社の立地動向」
『彦根論叢』430号、22-35頁、2022年1月
- ②「多国籍企業の知識移転と吸収能力の開発—文献レビュー—」
『彦根論叢』424号、22-36頁、2020年7月
- ③「日本企業における海外R&D拠点の立地と所有戦略の変化—エレクトロニクス関連産業の分析—」
『滋賀大学経済学部研究年報』24巻、43-55頁、2017年11月
- ④（編著）「立地優位と競争力」
影山喜一編『地域マネジメントと起業家精神』、雄松堂出版、第2章、2008年6月

III 指導可能なテーマ

製造業における研究・技術開発活動に関わる経営学的な研究テーマ（経営戦略や組織のマネジメント）であれば指導可能です。マーケティング論、ブランド論、流通論などのテーマは専門外ですので指導できません（必要に応じて、希望する研究テーマが指導可能かどうかをメールで確認していただいても構いません）。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002452_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

柴田 淳郎 准教授 博士（経営学）

I 研究テーマ

経営戦略，経営管理，企業統治及び地場産業・伝統産業に関する国際比較経営制度に関する研究

II 著作リスト

- ①「日本型スピノフ戦略の形成プロセスと論理－日本陶器合名会社の事例分析－」
日本経営学会誌 22 巻，2008 年 10 月
- ②「地場産業のビジネスシステムと競争行動－九谷焼産地と瀬戸焼産地の人材育成システムに焦点を合わせて－」
国民経済雑誌 197 巻 4 号，2008 年 4 月
- ③「企業間協働と会社制度－有田焼産地の事例分析－」
国民経済雑誌197巻2号 2008年2月
- ④（共編著）「国際移転におけるコンテキストの共有－技術特性に対応した「適用・適応」－」
国民経済雑誌 196 巻 2 号 2007 年 8 月
- ⑤「陶磁器産業における会社制度に関する研究」
神戸大学大学院経営学研究科，2006 年 3 月

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002450_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は，入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

澤木 聖子 教授 博士（学術）

I 研究テーマ

人的資源管理、異文化間マネジメント

（多国籍企業における国際人的資源管理、会社文化の経営人類学的研究）

II 著作リスト

- ① 「日本企業の介護離職ゼロに向けた人的資源管理の課題」
北隆館『地域ケアリング』巻18号10 71-74. 2016年9月
- ② （共編著）「大連日系企業における日本語人材の活用と課題」
小田野純丸・北村裕明編著 分担執筆『経済経営リスクの日中比較』サンライズ出版244-257.
2009年9月
- ③ （共編著）『英語で経営する時代』
吉原英樹・岡部陽子・澤木聖子 有斐閣, 2001年9月
- ④ 「グローバル化と経営者の英語感覚」
『グローバル経営』（社）日本在外企業協会, 2002年1月
- ⑤ （共編著）「企業における国際人材育成」
原岡一馬・若林満編著 分担執筆『組織コミュニケーション-個と組織との対話-』福村出版,
1993年3月

III 指導可能なテーマ

日本の国内外の企業組織の人材マネジメントに関するテーマについて取り扱います。働く
個々人の職務意識から経営の国際化に伴う人的資源管理や組織文化の変容など、個人と組
織の双方の視点に関心があります。

また、開発途上国の人材開発や教育についても指導可能です。学部教育では、「経営管理論」、
「人的資源管理」の科目を担当しているため、これらの基礎学力の習得を前提とした学生を歓迎
します。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002451_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

松田有加里 准教授

I 研究テーマ

史料を紐解き、近江商人の商家に固有の簿記法と経営活動における役割、店内教育の実態等に関する研究を行っています。商家経営の実態を知るために、会計史料だけでなく日記・手紙類も併せて分析しています。

II 著作リスト

- ①江戸時代のわが国固有の帳合法（簿記法）の研究
—19世紀中井家仙台店及び石巻店の店卸目録の分析から—
日本簿記学会『日本簿記学会年報』第31号, 2016年7月
- ②19世紀江州柴谷家における松前交易と会計記録・報告機構に関する研究
—「勘定帳」を中心とした会計帳簿の分析—
日本会計史学会『会計史学会年報』第37号, 2020年10月

III 指導可能なテーマ

江戸時代における近江商人の商家に固有の簿記法、経営状態に関する研究であれば指導可能です。必要に応じて、メールで連絡をとり、希望する研究テーマが指導可能か否かを確認してください。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100003004_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

清宮政宏 教授 博士（経営学）

I 研究テーマ

産業財取引を中心に、企業のマーケティング活動が成果と、どのように因果関係を持つか、様々な角度・手法によって、検証を進めている。

II 著作リスト

- ①「物語を使ったマーケティングが有効となる条件とその限界に関する試論」
『滋賀大学経済学部研究年報』28巻（頁17～31），2021年12月
- ②「福沢山脈を引き継ぐ経営者たちについて」
『福澤手帖』185号（頁11～17），2020年06月
- ③「経営やマーケティングの活動に革新性や調和・共感をもたらすアートの感性に関する試論」
『彦根論叢』422号（頁48～61），2019年12月
- ④「顧客目線で企画された新サービスによって高まる顧客ロイヤルティ」
『顧客ロイヤルティ戦略：ケースブック』，第7章（pp89-106.，），2015年
- ⑤「プロ野球独立リーグにおける顧客関係性の構築に関する一考察～ルートインBCリーグでの様々な顧客接点が果たす役割を通して～」
彦根論叢407号（頁36～55），清宮政宏，2016年03月

III 指導可能なテーマ

産業財取引を中心にしたマーケティング活動に関する研究が中心になります。（中国に関わるマーケティングは対象外。また中国で独自に行われるマーケティング活動を日本に移殖したい等というテーマも対象外です。）

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002457_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

横山 幸司 教授 博士（学術）

I 研究テーマ

地方自治に関する研究、特に行政経営改革（総合計画、業務の棚卸し、事務事業の見直し、補助金等歳出の見直し、行政評価、PPP/PFI、指定管理者制度など）に関する実証的研究を行っています。

II 著作リスト

- ①（編著）「コロナ時代を生き抜く自治体経営論」
サンライズ出版，2022.3
- ②（編著）「行政経営改革の要諦」
サンライズ出版，2020.6
- ③（著書）「市民協働政策における郵便局と 地方自治体との連携に関する研究報告書」
（一社）通信研究会，2022.3
- ④「小さな拠点におけるPPP導入の可能性についての一考察」
滋賀大学社会連携研究センター報5号，2017.7

III 指導可能なテーマ

地方自治体を対象とした地域政策や行政経営改革に関する実証的な研究、政策提言型の研究について指導が可能です。フィールドワークや事例調査は必須と考えてください。
なるべく、事前にメール等でコンタクトを取って希望する研究テーマが指導可能か確認してください。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002304_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

小野善生 教授 博士（経営学）

I 研究テーマ

フォロワーの視点に基づく管理者のリーダーシップに関する研究
中小酒造業経営者の組織変革に関する研究
滋賀バルブ産業における企業家行動に関する研究

II 著作リスト

- ①（著書）『フォロワーが語るリーダーシップ－認められるリーダーの研究－』
有斐閣, 2016年
- ②（著書）『リーダーシップ徹底講座－優れた管理者を目指す人のために－』
中央経済社, 2018年
- ③「酒造業経営者の変革行動－滋賀県と高知県の中酒造メーカーの事業変革に関する研究－」
滋賀大学研究年報第26巻 13-38, 2019年
- ④「清酒製造業における革新 I：清酒の起源から諸白の登場に至るイノベーションの史的考察」
彦根論叢第 429号 4-19, 2021-10, 2021年
- ⑤「滋賀バルブ産業の生成と発展：企業家行動からのアプローチ」
彦根論叢 第424号 4-20, 2020年

III 指導可能なテーマ

インタビュー調査や参加観察といった手法を用いたフィールドワークによる定性的方法論を用いた研究あるいは様々な質的資料を分析する事例研究については対応可能である。ただし、定量的方法論を用いた方法論を用いる場合は他の教員を志望することを強く推奨する。経営学における組織行動論・管理者行動論といった主たる研究分野から経営管理論・経営組織論あるいは経営戦略論といった関連する分野まで研究指導が可能である。ただし、マーケティングをはじめとする商学分野については、他の教員を志望することを強く推奨する。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002470_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

竹村幸祐 教授 博士（文学）

I 研究テーマ

社会心理学が専門です。一人ひとりの人間は日々の生活の中で自由に振る舞えるわけではなく、社会生活の中で色々な制約を受けますが、こうした制約はどこから来るのでしょうか？人間が社会を作り、その中で生きることで生じる影響を、社会心理学の実験・調査などを使って研究しています。

II 著作リスト

- ①Being different leads to being connected: On the adaptive function of uniqueness in "open" societies.
Journal of Cross-Cultural Psychology, 45, 1579-1593. 2014年11月
- ②Self-expression and relationship formation in high relational mobility environments: A study of dual users of American and Japanese social networking sites.
International Journal of Psychology, 52, 251-255. 2017年6月
- ③Contextual effect of wealth on independence: An examination through regional differences in China
Frontiers in Psychology, 7, Article 384. 2016年3月
- ④Farming cultivates a community-level shared culture through collective activities: Examining contextual effects with multilevel analyses.
Journal of Personality and Social Psychology, 116, 1-14. 2019年1月
- ⑤Cross-cultural differences and similarities in proneness to shame: An adaptationist and ecological approach.
Evolutionary Psychology, 10, 352-370. 2012年6月

III 指導可能なテーマ

社会心理学の研究テーマであれば、全般的に指導可能です。特に専門としているのは、文化（e.g., 心理の日米差）、集団過程（e.g., 協力、信頼、集団間関係）です。研究手法は、実験・質問紙調査・公開データ分析（一部）です。メールで希望する研究テーマが指導可能か確認していただいて構いません。なお、消費者心理学は専門外です。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002480_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

野田 昭宏 教授 博士（経営学）

I 研究テーマ

会計基準のグローバル化が企業行動に及ぼす影響
不均質選好市場における企業の利益調整行動
企業の環境（社会責任）会計情報開示政策
会計情報にもとづく経営者インセンティブの設計

II 著作リスト

- ① Auditor choice as a commitment device
Journal of Financial Reporting and Accounting 16 (3), 374–394. [査読有], 2018年
- ② 「環境負債開示の動学分析：レプリケータ・ダイナミクスによる自発的情報開示の安定性解析」
『年報 経営ディスクロージャー研究』第12号1-18頁。[査読有], 2013年3月
- ③ 「環境負債認識におけるコミットメントの機能—推定的債務認識の分析—」
『社会関連会計研究』第25号45-61頁。[査読有], 2013年11月
- ④ 「資産除去債務会計が環境コストに及ぼす影響」
『環境経済・政策研究』第4巻第2号1-11頁。[査読有], 2011年9月
- ⑤ 「企業の情報開示に対する情報開示ルールの影響—実験研究の証拠から—」
『現代ディスクロージャー研究』第2号11-18頁。[査読有], 2001年3月

III 指導可能なテーマ

定量的研究方法（分析的会計研究／統計的研究）に依拠して、国際会計、企業の利益マネジメント、経営者業績評価、および環境会計に関するテーマにアプローチします。なお、定性的研究（歴史研究、フィールド観察、資料解釈、事例研究等）とそれに関連する研究テーマ（会計（学説）史、会計制度論、会計概念の検討等）は扱いません。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002467_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

可児島達夫 准教授

I 研究テーマ

アメリカ、イギリスおよび国際会計基準審議会（IASB）を中心として、資産負債アプローチにもとづいた収益認識や業績報告の変革について、主として財務会計の概念フレームワークと関連づけながら研究を行っています。

II 著作リスト

- ①顧客対価モデルに基づく収益認識における履行義務の測定
彦根論叢・第385号、滋賀大学, 2010年10月
- ②イギリスにおける財務業績の報告と概念フレームワーク
會計・第163巻第6号、森山書店, 2003年6月
- ③アメリカにおける財務会計概念フレームワークの形成基盤
商学論究・第47巻第2号、関西学院大学, 1999年7月

III 指導可能なテーマ

財務会計の制度・概念的理論に関する研究であれば指導可能です。日本基準、アメリカ基準および国際基準を対象とした制度研究も指導可能です。実証分析（データ分析）研究は指導できません。当然ながら、原価計算や管理会計の研究も指導できません。必要に応じて、メールでコンタクトを取って、希望する研究テーマが指導可能か事前に確認してください。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002460_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

笠井直樹 准教授 博士（経営学）

I 研究テーマ

主に、財務諸表監査を担う公認会計士または監査事務所の提供する監査業務の品質の定量化や、現行の監査規制（制度）導入による経済的帰結を公表データに基づき検証しています。会計不正事例の調査も行っています。

II 著作リスト

- ①わが国における非財務情報の監査・保証に関する先行研究のレビュー
日本会計研究学会（日本会計研究学会特別委員会中間報告書），2021年9月
- ②（著書）「第3章：会計不正の予測と監査人の特徴」瀧博編著『テクノロジーの進化と監査』
同文館出版（日本監査研究学会リサーチシリーズ・XVIII），2020年8月
- ③監査人の業種特化と監査の品質に関する実証分析—監査事務所および監査担当パートナーのデータを用いた検証
滋賀大学経済学部（Working Paper Series・第287号），2019年1月
- ④（著書）「第3部第2章：レビュー業務の経済的効果に関する実証分析（首藤昭信・高田知実と共著）」松本祥尚編著『監査・証明業務の多様性に関する研究』
日本公認会計士協会出版局（日本会計研究学会スタディグループ報告書），2019年1月
- ⑤The Combined Effects of Long Audit Partner Tenure and Audit Fees on Audit Quality: Evidence from Japan
神戸大学経済経営学会（国民経済雑誌・第218巻第1号），2018年7月

III 指導可能なテーマ

主に財務諸表監査制度および財務会計制度に関連する実証研究（財務諸表等の公表データに対して計量経済学のアプローチを援用して分析を行うタイプの研究）であれば対応できます。監査制度および財務会計制度に対する規範的研究については対応できません。希望する研究テーマが指導できるか（研究方法論も含めて）については事前にメールで確認してください。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002459_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

赤塚尚之 准教授

I 研究テーマ

IFRS基準（IAS第37号）に基づく引当金（時期または金額に不確実性を有する負債）の会計制度について、研究を行っています。国際会計基準審議会（IASB）の新概念フレームワークの適用を前提とした理念的な会計モデルの構築に加えて、実務上の取扱いについて調査もを行っています。

II 著作リスト

- ①（著書）IASB「2018年概念フレームワーク」と引当金会計—概念レベル・基準レベルの予備的検討—
滋賀大学経済学部研究叢書第53号，滋賀大学，2020年12月
- ②履行価値による引当金の測定
彦根論叢427号，滋賀大学，2021年03月
- ③コメンタリー：インド2013年会社法第135条（CSR）及び関連法規（2020年8月24日最終改正），
滋賀大学経済学部研究年報27号，滋賀大学，2020年12月
- ④地方銀行単体の業績指標の価値関連性—業務純益を明示しない損益計算書の様式の妥当性に関して—
現代ディスクロージャー研究17号，日本ディスクロージャー研究会（現・日本経済会計学会），2018年10月

III 指導可能なテーマ

財務会計の制度に関する政策提言型の研究であれば、どのようなテーマであっても指導可能です。日本基準を対象とした研究でも、国際基準・アメリカ基準等を対象とした研究でも指導可能です。実証研究（データ分析）や分析的研究（理論研究）については、指導対象外です（必要に応じて、メールでコンタクトを取って希望する研究テーマが指導可能か確認していただいても構いません）。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002458_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

宮西賢次 准教授

I 研究テーマ

キャッシュ・フロー情報の有用性に関する研究

II 著作リスト

- ① (編著)『財務会計のフロンティア』中央経済社, 1993年11月
- ② (編著)『管理会計のフロンティア』中央経済社, 1994年4月
- ③ 「キャッシュ・フロー指標と主成分分析」
『大阪大学経済学』第40巻第1・2号, 1991年3月
- ④ 「財務諸表分析におけるキャッシュ・フロー情報の有用性」
『原価計算研究』Vol. 17, 1992年11月
- ⑤ 「CRRアプローチの理論的発展と問題点」
『彦根論叢』第287・288号, 1994年4月

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002464_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

内藤雄志 准教授 博士（経営工学）

I 研究テーマ

協力ゲーム理論の配分解の性質に関する組合せ最適化問題などを研究課題としています。

II 著作リスト

- ①A note on the Frank-Tardos bi-truncation algorithm for Crossing-submodular functions
Mathematical Programming Vol.53 361-363, 1992年2月
- ②A Greedy Algorithm for Minimizing a Separable Convex Function over an Integral Bisubmodular Polyhedron
Journal of the Operations Research Society of Japan Vol. 38 No. 3 362-375, 1995年9月
- ③On some properties of the ε -core of games with coalition structure
International Journal of Game Theory Vol. 28 Issue 2 253-255, 1999年5月
- ④Convexity and d-revised link-convexity of restricted games on some intersecting family
Working Paper Series No. 185, Faculty of Economics Shiga University, 2013年2月
- ⑤Structure of biset achievable families
彦根論叢第399号 132-141, 2014年3月

III 指導可能なテーマ

ゲーム理論関係では協力ゲーム理論の分野、数理計画関係では組合せ最適化、いずれも基本的には数理的な理論研究です。微分積分、線形代数、確率統計を一通り履修していても、希望する研究テーマが指導可能か事前にメールでコンタクトを取って確認してください。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002469_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

村松郁夫 准教授

I 研究テーマ

ストックオプションやESOPなどの株式報酬制度、株式交換や株式移転などの事業再編行為など、近年の法制度改正が、経営者の財務的意思決定にどのような影響を及ぼすかについて、理論的研究および実態調査を行っている。

II 著作リスト

- ①（共編著）構造変革期の企業財務
千倉書房，平成10年2月
- ②わが国企業の組織再編の動向
甲南経営研究、第52巻、第1号，平成23年7月
- ③わが国におけるストックオプションの権利行使状況
彦根論叢、第395号，平成25年3月

III 指導可能なテーマ

コーポレートファイナンスにおける主要なテーマである資本調達政策、投資決定、ペイアウト政策（利益処分および自己株式）に関する理論的および制度的研究は指導可能です。ただし、数理ファイナンスや実証分析については、指導対象外とします。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002472_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

山下 悠 准 教 授 博 士 (商 学)

I 研究テーマ

主にミクロ経済学を用いて、流通システムやマーケティング活動の分析を行っています。
また、インターンシップや起業家教育など教育に関する分野の研究も行っています。

II 著作リスト

- ① (共編著・論文) Revenue versus incentive: Theory and empirical analysis of franchise royalties
Journal of the Japanese and International Economies Vol. 34, 2014年12月
- ② フランチャイズ契約におけるロイヤリティ構造—産業間の実態比較—
国民経済雑誌, 208巻, 2013年12月
- ③ (共編著・論文) 商業施設から見た「ファスト風土化」の可能性—京都市のケースを手がかりに—
滋賀大学経済学部研究年報, 20巻, 2013年11月
- ④ (共編著・論文) Franchise Fees and Royalties: Theory and Empirical Results
Review of Industrial Organization Vol. 40 2012年5月
- ⑤ (共編著・論文) The logic of franchise contracts: Empirical results of Japan
Japan and the World Economy Vol. 22, 2010年8月

III 指導可能なテーマ

経営学が取り扱う分野のうち、流通システム・マーケティング・消費者行動など商業に関わるテーマや、起業家や中小企業の経営者などに関するテーマであれば指導可能です。研究方法の視点から述べると、ミクロ経済学を用いた数学モデル分析や、アンケートやインタビューなどによる実証研究については指導可能ですが、ケーススタディは専門外ですので指導ができません。事前に、希望する研究テーマおよび研究方法が指導可能かどうかをメールでお問い合わせいただければ幸いです。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002473_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

渡邊凡夫 教授

I 研究テーマ

マルチエージェントに基づくGISデータ獲得に関する研究

II 著作リスト

- ①T. Watanabe, T. Niwa and N. Ishii,
“Reconstruction of Polyhedral Object,”
Proc. of International conference of Image Processing, pp.203-211, September 1992
- ②T. Watanabe and N. Ishii,
“The Design of GIS interface for Map Recognition Based on Linguistic Descriptin,”
Proceeding of IATED International Conference of Simulation and
Modelling, pp.183-187, May 1993
- ③T. Watanabe, N. Shimokawa, K. Satoh, T. Niwa and N. Ishii,
“A Trisl Construction of GIS for the Calculation of Fixed Tax,”
Proceeding of IATED International Conference of Simulation and
Modelling, pp.284-288, May 1994
- ④T. Watanabe, N. Shimokawa, K. Satoh, T. Niwa and N. Ishii,
“A Study of Generation of Road Graph Network from Color Analog Map,”
Proceeding of IATED International Conference of Simulation and
Modelling, pp.284-288, May 1996
- ⑤T. Watanabe, N. Shimokawa, K. Satoh, T. Niwa and N. Ishii,
“An Extraction of Icons from Color Analog Map and an Identification
of Road Graph Network,”
Proceeding of IATED International Conference of Simulation and
Modelling with AAAI, pp.85-88, August 1997

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002498_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

富田 健一 准教授 博士 (工学)

I 研究テーマ

誤り制御方式に関する研究

II 著作リスト

- ①Reduced Complexity Iterative Decoding Using a Sub-optimum Minimum Distance Search
IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E86-A, No.10, pp.2596-2600, October 2003
- ②A soft-decision iterative decoding algorithm using a top-down and recursive minimum distance search
IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E85-A, No.10, pp.2220-2228, October 2002
- ③An Efficient Evaluation Method of the Block Error Probability by Using an Importance Sampling Technique
Proceedings of 2000 International Symposium on Information Theory and Its Application, pp.172-175, Honolulu, Hawaii, November 5-8, 2000
- ④An Evaluation Method of the Block Error Probability by Using a Low-Weight Sub-Trellis Diagram
IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E80-A, No.11, pp.2104-2110, November 1997
- ⑤An Improved Union Bound on Block Error Probability for Closest Coset Decoding
IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, Vol.E78-A, No.9, pp.1077-1085, September 1995

III 指導可能なテーマ

情報理論・符号理論他

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002477_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係 (メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

◎以下の教員は1頁～26頁を参照のこと(掲載順)

谷上 亜紀 教授 博士 (行動科学)

府内 直樹 准教授 Ph. D. (経済学)

大濱 巖 准教授 博士 (数理学)

石井 利江子 准教授 博士 (経済学)

中野 桂 教授 Ph. D. (経済学)

金谷 太郎 准教授 博士 (経済学)

菊池 健太郎 准教授

楠田 浩二 教授 Ph. D. (経済学)

大村 啓喬 准教授 博士 (国際公共政策)

宗野 隆俊 教授 博士 (法学)

能登 真規子 教授

青柳 周一 教授 博士 (文学)

阿部 安成 教授

福浦 厚子 教授 博士 (人間・環境学)

佐野 洋史 教授 博士 (経済学)

グローバル・ファイナンス専攻

楠田 浩二 教授 P h . D . （ 経 済 学 ）

I 研究テーマ

消費に基づく資本資産評価
金利派生資産評価

II 著作リスト

- ① “Term Structure Models of Interest Rates with Jump-Diffusion Information: Equilibrium, CAPM, and Derivative Asset Pricing”
Ph.D. Dissertation, Department of Economics
University of Minnesota, October 2003
- ② “Consumption-Based CAPM and Option Pricing under Jump-Diffusion Uncertainty”
Discussion Paper 317
Center for Economic Research Department of Economics
University of Minnesota, April 2003
- ③ “Existence, Uniqueness, and Determinacy of Equilibria in Complete Security Markets with Infinite Dimensional Generator”
Discussion Paper 318
Center for Economic Research Department of Economics
University of Minnesota, December 2002

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002442_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

菊池 健太郎 准教授

I 研究テーマ

金融工学の見地から主に研究を行っております。特に関心のある研究テーマは、①資産価格モデルの理論構築と実証分析、②投資家の資産配分に関するものです。また、経済学・ファイナンスと数理解析が交錯するテーマや金融リスク管理に関するテーマにも関心があります。

II 著作リスト

- ①Semi-analytical solution for consumption and investment problem under quadratic security market model with inflation risk (Batbold Bolorsuvd氏, 楠田浩二氏との共著)
Mathematics and Financial Economics, 2022年3月
- ②Money flow network among firms' accounts in a regional bank of Japan (Yoshi Fujiwara氏, Hiroyasu Inoue氏, Takayuki Yamaguchi氏, Hideaki Aoyama氏, Takuma Tanaka氏との共著)
EPJ Data Science, 10 巻 19 号, 2021 年 4 月
- ③(共編著) 「リスク学事典」第11章「価格変動リスクの評価」, 「信用リスクの評価」,
日本リスク学会編
丸善出版, 2019 年 6 月
- ④Quadratic Gaussian joint pricing model for stocks and bonds (単著)
“Recent Advances in Financial Engineering 2014: Proceedings of the TMU Finance Workshop”, World Scientific, pp.107-131. 2016 年 4 月
- ⑤ 与信ポートフォリオ VaR の解析的な評価法: 条件付鞍点法による近似計算の理論と数値検証 (単著)
日本銀行金融研究所『金融研究』第 26 巻別冊第 2 号, 頁 137-186. 2007 年 11 月

III 指導可能なテーマ

ファイナンス理論に根差した領域(「金融経済学」「ファイナンス」「金融工学」のテキストに記載されているテーマ)であれば指導可能です。また、ファイナンス理論とは異なる領域であっても、数理モデリングに関連するテーマであれば指導できる可能性があります(その場合、事前に確認をお願いします)。必要に応じて、メールで希望する研究テーマが指導可能かどうかを確認して頂ければと思います。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002441_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp)に連絡してください。

金谷太郎 准教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

マーケットマイクロストラクチャーノイズの計量

II 著作リスト

- ①マーケット・マイクロストラクチャー・ノイズがある場合のボラティリティ推定に関する最近の研究 『滋賀大学ワーキングペーパー』, 2009年
- ②Subsampling Cumulative Covariance Estimator
『滋賀大学ワーキングペーパー』, 2009年
- ③Nonparametric Methods of Estimating Integrated Multivariate Volatilities
(with T. Hoshikawa, K. Nagai, and Y. Nishiyama)
Econometric Reviews 27(1-3), 2008年
- ④Finite Sample Analysis of Weighted Realized Covariance with Noisy
Asynchronous Observations 『京都大学経済研究所ディスカッションペーパー』, 2007年
- ⑤Unbiased Covariance Estimation with Interpolated Data (with R. Reno)
『シエナ大学政治経済学部ワーキングペーパー』, 2007年

III 指導可能なテーマ

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002444_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係
(メールアドレス: nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp) に連絡してください。

近藤豊将 教授 博士（経済学）

I 研究テーマ

財政の維持可能性についてマクロ動学理論を援用した研究を行っています。また、経済の均衡を近似するためのアルゴリズムや均衡の存在問題に関連する不動点の存在定理の研究も行っています。いずれの研究でも確固とした数理的基礎を重視しています。

II 著作リスト

- ①(共著)International linkage of inflation rates in a dynamic general equilibrium
Journal of Economics, Springer, 2012
- ②Sustainability of Public Debt in an AK Model with Complex Tax System
Inequality and Finance in Macrodynamics, Springer, 2017
- ③(共著)Weak Convergence Theorems to Common Attractive Points of Normally
2-Generalized Hybrid Mappings with Errors
Journal of Nonlinear and Convex Analysis, Yokohama Publishers, 2020
- ④Mean convergence theorems using hybrid methods to find common fixed points for
noncommutative nonlinear mappings in Hilbert spaces
Journal of Applied Mathematics and Computing, Springer, 2021
- ⑤Fixed Point Theorem for Generic 2-Generalized Hybrid Mappings in Hilbert Spaces
Topological Methods in Nonlinear Analysis, Juliusz P. Schauder Center for Nonlinear
Studies, 2022

III 指導可能なテーマ

財政・金融のマクロ経済学的な分析であれば、指導可能です。ただし、経済理論の論文を読むようになってもらう必要があるため、そのためのトレーニングは（数理的なものも含めて）こなしてもらいます。また、数理経済学も指導可能ですが、解析学を応用した研究に限定させていただきます。いずれの研究を志向する場合でも、修士1年生の時は好きな研究はできません。基礎トレーニングをみっちりこなしてもらいます。

IV 教員紹介URL

https://researchers.shiga-u.ac.jp/html/100002446_ja.html

※研究テーマ等に関して教員に連絡を取りたい場合は、入試課入学試験係（メールアドレス：nyuushi@biwako.shiga-u.ac.jp）に連絡してください。

◎以下の教員は1頁～26頁、27頁～47頁を参照のこと(掲載順)

府内直樹 准教授 Ph. D. (経済学)

鈴木康夫 教授 博士(経済学)

大濱 巖 准教授 博士(数理学)

田中英明 教授 博士(経済学)

松田有加 教授 博士(経済学)

石井利江子 准教授 博士(経済学)

山下悠 准教授 博士(商学)

小倉明浩 理事

和田佳之 准教授

吉田裕司 教授 博士(経済学)

村松郁夫 准教授

野田昭宏 教授 博士(経営学)

可児島達夫 准教授

赤塚尚之 准教授

宮西賢次 准教授

内藤雄志 准教授 博士(経営工学)

渡邊凡夫 教授

富田健一 准教授 博士(工学)

佐野洋史 教授 博士(経済学)

喜田昌樹 教授 博士(経営学)